

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2022年2月

第94号

こんぶくろ池自然博物公園への園児案内体験

辻村 正孝



1月13日(木)、14日(金)の2日間にわたって、市内松葉幼稚園の園児(各30名)、引率者(4名)を受け入れ、岡本会長、中川理事と一緒にこんぶくろ池を経る周回コースを案内しました。私が参加するきっかけは、「市内の幼稚園児が来園するので当日のガイドを募集します」といった簡単な案内からでした。

昨年からのこのこんぶくろ池自然博物公園のNPO活動に参加。調査班の一員として月2回の活動には参加するものの、樹木、草花、昆虫などの基礎知識も浅くまだまだ案内など無理かなあと思いつつ、でも何かお手伝いできればと手を挙げたところ、人手も足りないし事故防止のためにガード役としてでも、とのことでお受けしたものでした。

実は私自身も同じ年頃の孫にいつも無理難題を投げかけられては、答えたり、調べたり、煙に巻いたりその対応にも少しは慣れてきたので、岡本会長の「わからない質問にはじいじもわからないなあ、でいいんですよ」のお答えに意を強くして当日を迎えました。



当日はマイクロバスで園児たちが定刻に来園。管理棟の前で岡本会長からメンバーの紹介(われら3じいじ)と簡単な全体の説明があり、その後先生に引率され園内へ。園内では引率の先生があらかじめ下見していた杉とヒノキが並んでいるところでその違いを幹や葉を見せて分かりやすく説明、道中ドングリや木の実や枯れ葉を拾ったりしながら散策し、こんぶくろ池の前では中川じいじから池のいわれや野馬土手の説明を受け真剣に聞いていました。また鳥のさえずりが聞こえたら耳を澄ませて行方を追ったり、十分自然の営みを実感できたものと思います。

園児たちからはタヌキ、ウサギ、オオタカなどに会えないかなあという声や、いくつかの質問もありましたが、一番の難問はこんぶくろ池のほりにある小さな祠の中を覗き込んでみた狸の置物でした。「狸が神様？」。



今回の活動を通じて感じたことは、まず第一に先生方の事前準備や先生方から園児たちへの動機付けが素晴らしかったこと。先生方はじめ園長さんも事前にコースを巡回しておられ、子供たちの疑問や関心をできるだけ伸ばそうと努力をされているのが十分に感じられました。そしてもう一つは子供たちにとって自然環境に触れ学ぶことと同時に、自由に走り回ったり少し冒険もできるような環境も整えばもっと素晴らしい経験ができる場になるのではと感じました。

このこんぶくろ池自然博物公園は柏市が小中学校や地域住民の「環境教育の場」と位置づけ、当NPOも柏市と協働して数々のイベント開催を通じて当園の活用を呼びかけ、去年は7校の小学校から575名の生徒を受け入れたと聞いています。

今後はさらに今回のような未就学児童まで、又地域住民も含めた高齢者を含めた幅広い年代層にまで参加者が広がってほしいと望んでいます。



体験の様子は、松葉幼稚園ホームページのブログからもご覧になれます。

<https://www.matsuba-g.jp/blog/20220117165738/>

実習ボランティア感想文

千葉大学文学部人文学科行動科学コース2年
鈴木ひとみ

千葉大学の開講する「地域活動」をテーマとした授業の一環として、8月から12月にかけて全9回NPO こんぶくろ池自然の森様にお世話になりました。

比較的近い場所に自宅があり、これまでその存在だけは知っていたこんぶくろ池。今回の実習を通して初めて訪れましたが、最初に案内をしていただく中でその森の多様性に驚きました。開発が進められている柏の葉にありながらも、森林部分や湿地といった様々な動植物の生息環境を有し、守っている。さらには、ズミやワタラセツリフネソウをはじめとする希少種が数多く生育している。この地域におけるこんぶくろ池の果たす役割は想像以上に大きく、保全の重要性を感じるきっかけとなりました。

その後、下草刈りや伐採木運搬といった園内整備や調査に参加させていただきましたが、最初に訪れたときに感じた多様性は、NPOの皆さんの活動によるものだと実感しました。希少種の管理・植栽や園内整備はもちろんのこと、病気への対策や処理といった幅広い活動を行っていらっしゃる一方で、むやみに手を加えるのではなく、森自身の成長をサポートするような活動も多く、外の変化に影響されずに森の豊かさが継続されている所以を学ぶことが出来ました。

実習中、多くの会員の方にお話を伺う機会がありましたが、皆さんそれぞれがこんぶくろ池とその森の心地よさについてお話しくださいました。私自身もこの森を訪れるたびに感じていましたが、今活動を終えたうえで、この人にとっても対象にとってもプラスになるような活動が地域活動の在り方ではないかと考えるようになりました。今回のこんぶくろ池における活動経験を通して、より地域活動というものの学びが深まったように思います。

最後になりますが、会長の岡本さん、担当してくださった山上さんをはじめとするお世話になりました会員の皆様に深く感謝申し上げます。

千葉大学医学部1年
所 尚樹

短い間でしたが、今回はボランティアに参加させていただきありがとうございました。この実習が私にとって初めてのボランティアの経験で、多くのことを知る素晴らしい機会になりました。こんぶくろ池周辺の地域は都市開発で昔よりは緑が減ってしまいましたが、今でも、ズミやノジトラノオなどの貴重な植物が残っていることは驚きました。ボランティアの作業に関しては思っている以上に大変なのだなと感じました。実際に、雑草を刈ったり、丸太を運んだりすることを体験して、ボランティアの皆さんの苦勞がよくわかりました。もちろんボランティアの作業は大変ですが、皆さんの雰囲気がとても暖かく、とても楽しかったです。皆さんがボランティア活動後も集まってお話をしているのを見て、こんぶくろ池が地域交流の場という役割を果たしていると感じました。

キノコ観察会に参加したこととても印象に残っています。参加者には子供たちが多くいて、子供たちに自然に十分触れ合える機会を与えることができているのがすごくいいことだと思いました。実際に、子供が自然に触れ合う機会は減少していると思うので、このようなイベントを通して自然に興味を持ってくれるのは嬉しいことです。これからも時々ボランティアに参加させていただきたいです、今回は本当にありがとうございました。

1 月理事会

(日時) 2022年1月29日(土) 10:00~13:45

(出席者) 岡本、上田、中川、萩原

1. 審議検討・確認事項

【第一部】

(1) 今年度のこんぶくろ池公園の水量・水質調査について

- ・ アジア航測細川氏より途中経過報告を受け、その後に質疑応答を行った

【第二部】理事会メンバーのみ

(1) 「里山の保全活動体験会」の準備状況について

- ・ チラシ(案)、活動内容説明文書(案)の検討及び今後の準

備作業内容についての共有化

- ・ 修正後 200 部印刷し配布を開始する
- (2) 来年度の T-KIDS 及び柏の葉 T-SITE とのイベントの準備状況について
- ・ 4/10 (日) 春の自然観察会
 - ・ 7/24 (日) 夜の昆虫観察会
 - ・ 8/13 (土) & 14 (日) こんぶくろ池の昆虫について
上記スケジュールについて T-KIDS からの返事待ち
- (3) UDCCK 昆虫座学&標本展示の準備状況について
- ・ 5/20 (金) ~22 (日) 標本展示・5/22 (日) 座学
 - ・ 日程及び標本警備について最終確認を行う
 - ・ NPO の共催・広報活動についても検討する
- (4) 千葉学ブックレット「こんぶくろ池物語」増刷について
- ・ 印刷部数、納期日数をあらためて確認の上、来年度予算にて検討する
- (5) 定款の一部改正について
- ・ 改正 (案) の検討を行った
 - ・ 再修正の上、総会に向けて準備を行う
- (6) 来年度の役員&事務局員、契約当番運営について
- ・ 情報を共有化した
- (7) 駐車場無断利用者の注意板の設置について
- ・ 柏市からの連絡待ち
- (8) 2~3月活動計画
- ・ 情報を共有化した

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介

しょうこ
平岩 昌子さん



犬の散歩で利用したことがきっかけです。敷地内の散策をもっと楽しくするため、動植物に詳しくなりたいと思います。

趣味・好きなこと：登山、キャンプ

貢献できそうなこと：会計

取り組んでみたいこと：園内を見ると高木が多く、光が入りづらいように感じました。中低木が息できる階層構造の発達した森になったらいいなと思います。